

## 2016年9月期 第3四半期決算説明資料

株式会社イグニス

2016年8月12日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。  
様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

- I. 2016年9月期 第3四半期決算概要
- II. 2016年9月期業績予想の修正
- III. 事業トピックス

## I. 2016年9月期 第3四半期決算概要

3Q（累計）売上高は、前年同期比で約3.6倍の大幅増収となりました。営業利益は創業以来の最高益、営業利益率も引続き30%レベルをキープしています。

## 2016年9月期第3四半期累計

（単位：百万円）

	2016年9月期 3Q（累計）	前年同期比	2015年9月期 3Q（累計）
売上高	4,035	360.3%	1,120
無料ネイティブアプリ	493	85.6%	576
ネイティブソーシャルゲーム	3,541	652.3%	543
営業利益	1,202	-	△313
<i>営業利益率</i>	<i>29.8%</i>	-	-
経常利益	1,197	-	△395
<i>経常利益率</i>	<i>29.7%</i>	-	-
当期純利益	1,000	-	△443
<i>純利益率</i>	<i>24.8%</i>	-	-

# 第3四半期（4月～6月）の総括①

2016年9月期第3四半期（2016年4月-6月）では、売上高は対前四半期比10.5%の増加、一方営業利益では、広告宣伝費の重点投下により17.6%の減益となりましたが、これは想定通りの着地です。

2016年9月期第3四半期会計期間

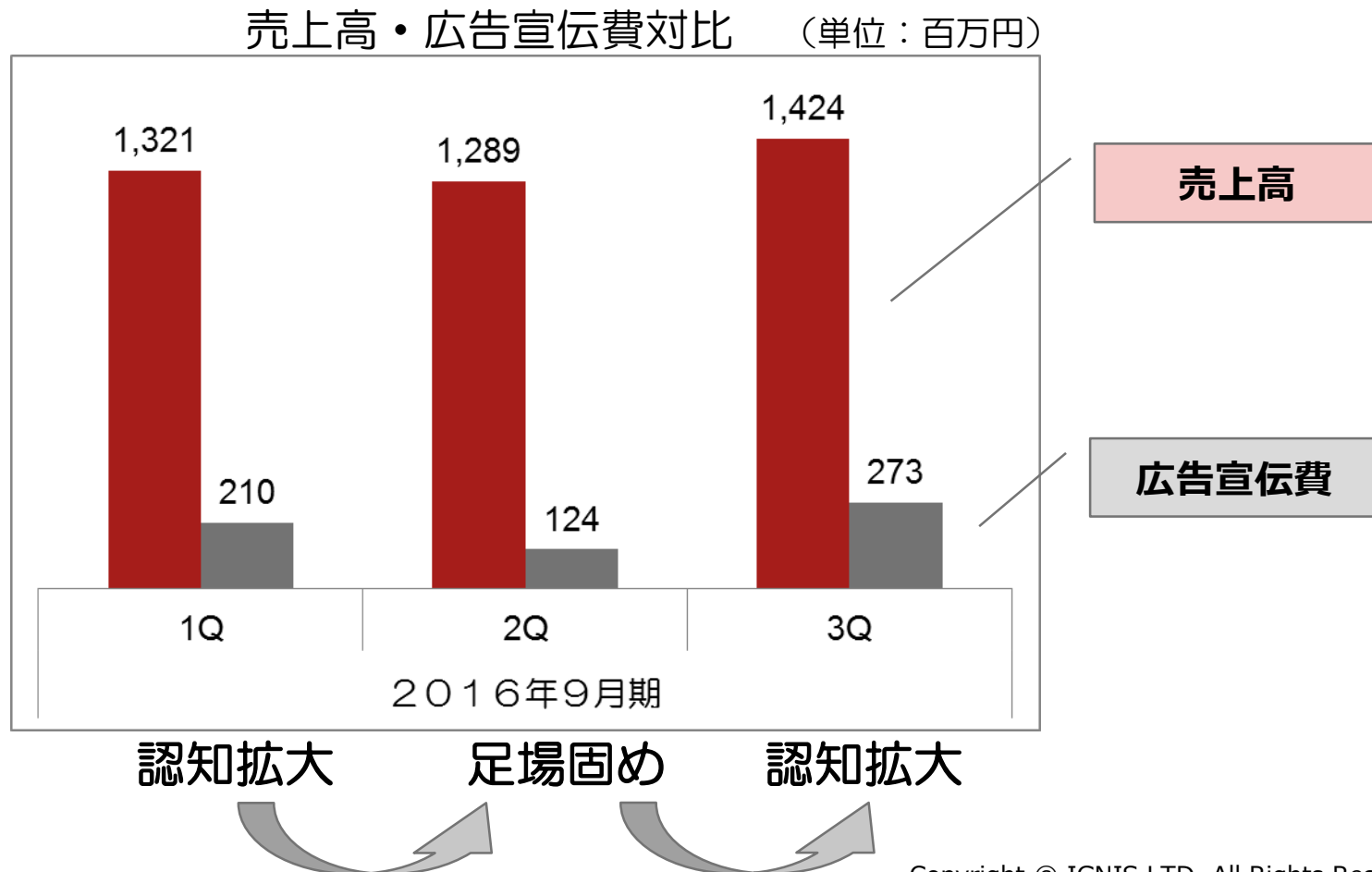
（単位：百万円）

	2016年9月期 3Q（四半期）	前四半期比	前年同期比	2016年9月期 2Q（四半期）	2015年9月期 3Q（四半期）
売上高	1,424	110.5%	232.2%	1,289	613
無料ネイティブアプリ	172	97.1%	112.6%	178	153
ネイティブソーシャルゲーム	1,251	112.6%	272.2%	1,111	459
営業利益	358	82.4%	-	434	△70
営業利益率	25.2%	-	-	33.7%	-
経常利益	357	82.4%	-	434	△122
経常利益率	25.1%	-	-	33.7%	-
当期純利益	105	15.9%	-	664	△132
純利益率	7.4%	-	-	51.5%	-
広告宣伝費	273	219.1%	122.5%	124	222

※当期よりジャンル別の開示を、「無料ネイティブアプリ」「ネイティブソーシャルゲーム」の2ジャンルに変更しており、従来の「全巻無料型ハイブリッドアプリ」の売上高は「無料ネイティブアプリ」に含まれております。

# 第3四半期（4月～6月）の総括② - 広告宣伝費 - IGNIS

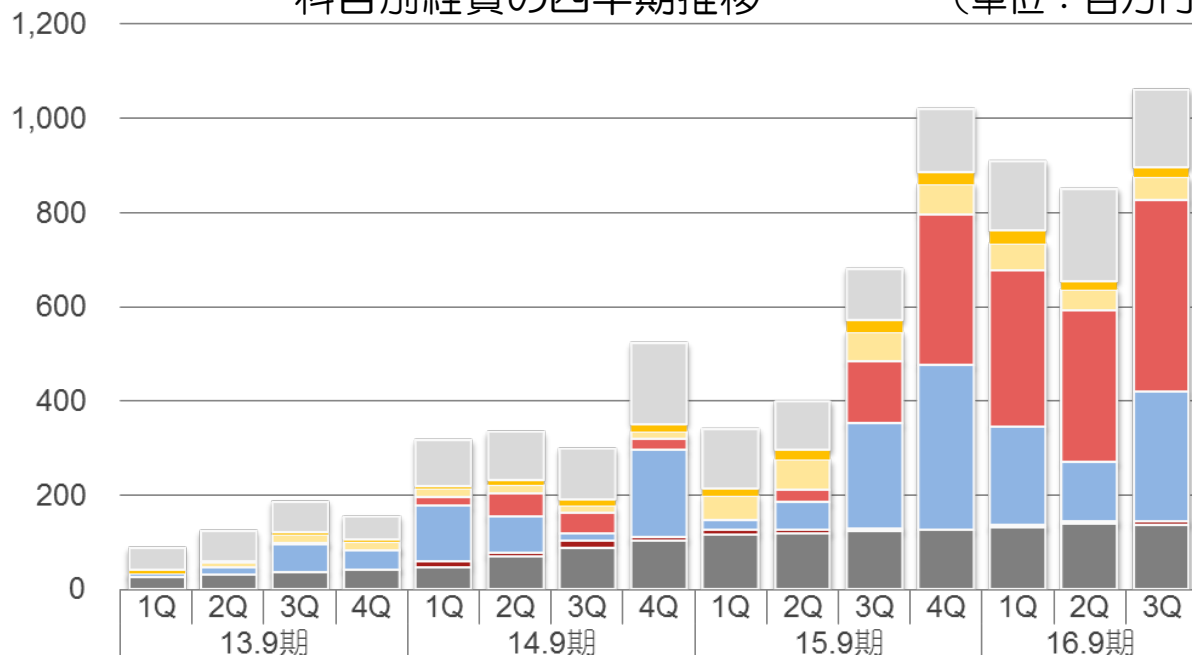
第3四半期は、『ぼくとドラゴン』を中心とした既存サービスのステップアップの時期と位置付け、ネットを中心に、重点的な広告展開を実施しました。1Qで認知を拡大させ、2Qで足場を固め、3Qで次の拡大を目指すという、段階を踏んだ戦略的な広告展開を行っています。



広告宣伝費以外の経費については、売上に連動して増加するPF手数料や人員増に伴う人件費を除き、前四半期とほぼ同等に推移、コストコントロールを徹底しております。

科目別経費の四半期推移

(単位：百万円)



	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
	13.9期				14.9期				15.9期				16.9期			
■ その他	46	63	65	48	97	103	107	172	128	104	110	134	145	197	165	
■ 支払報酬	8	4	6	7	7	10	14	15	15	21	24	26	28	18	22	
■ 地代家賃等(※)	1	9	18	16	16	16	16	16	50	63	63	64	57	43	48	
■ PF手数料	0	0	2	1	20	51	42	23	0	27	132	321	332	323	408	
■ 広告宣伝費	6	17	59	40	116	75	17	185	20	59	222	350	210	124	273	
■ 採用費				1	13	9	14	8	11	7	6	0	5	6	8	
■ 人件費	27	31	37	42	48	70	89	104	117	119	124	126	131	140	138	

※本社設備に係る減価償却費を含む

## II. 2016年9月期業績予想の修正



売上高55億円、営業利益12億円に通期予想を上方修正いたしました。

	前回予想 (4月25日開示)	今回修正
売上高	4,700	5,500
営業利益	1,000	1,200
当期純利益	900	900

(単位：百万円)

### 【売上高および営業利益の変更理由】

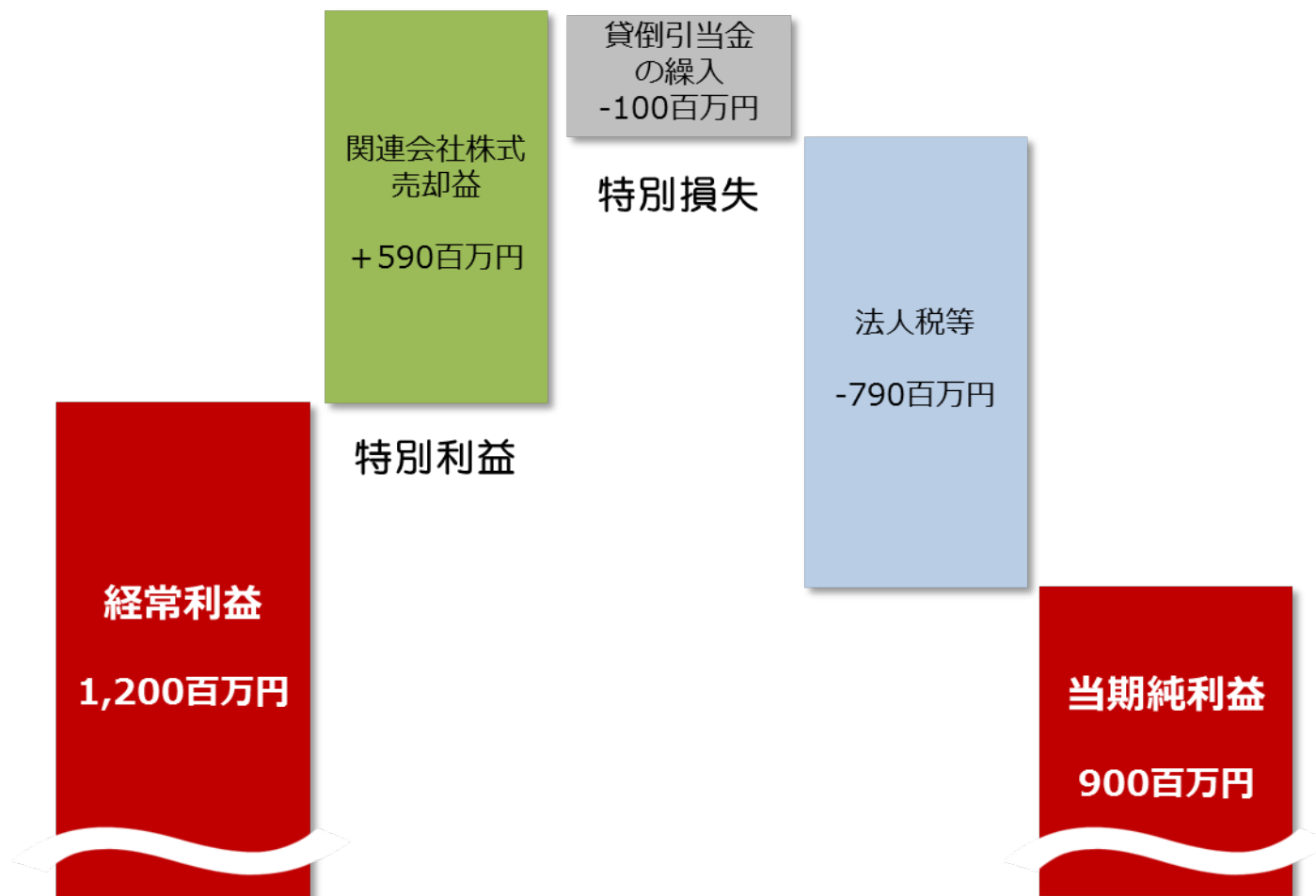
売上高 『ぼくとドラゴン』の売上高増加 (+800百万円)

営業利益 売上増に伴う利益増 (+500百万円)  
プロモーション費用および事業開発費の積み増 (-300百万円)

『ぼくとドラゴン』の堅調な推移を勘案し、売上高・利益を加算する一方、当社既存サービス全般のプロモーション費用および、今後導入予定の新サービスの開発費(3億円)を積み増し、成長への投資を強化することといたしました。

当社関連会社に対する貸倒引当金100百万円を特別損失として計上いたしました。（特別利益は従来通り。）

なお当期は個別納税を適用、来期より連結納税の適用を予定しております。



## Ⅲ. 事業トピックス



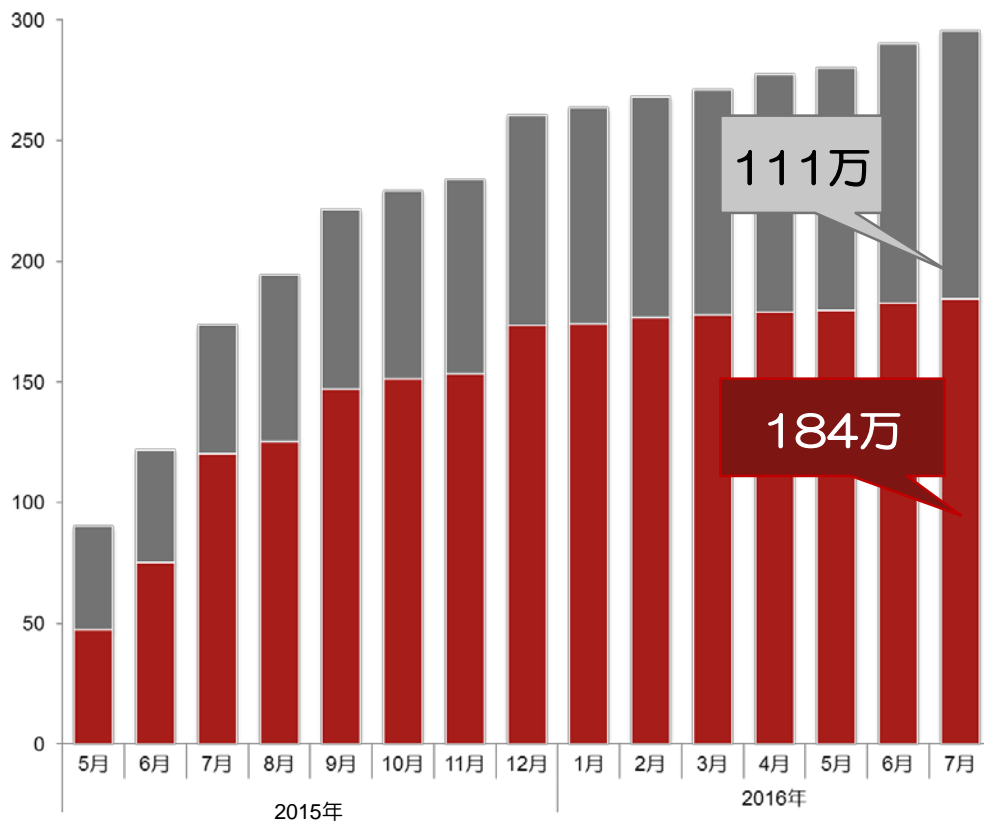
累計ダウンロード数は295万を突破！

デイリー売上ランキングも上位に収斂・定着する傾向が顕著になり、ロングセラーゲームとしての足場が固まりつつあります。

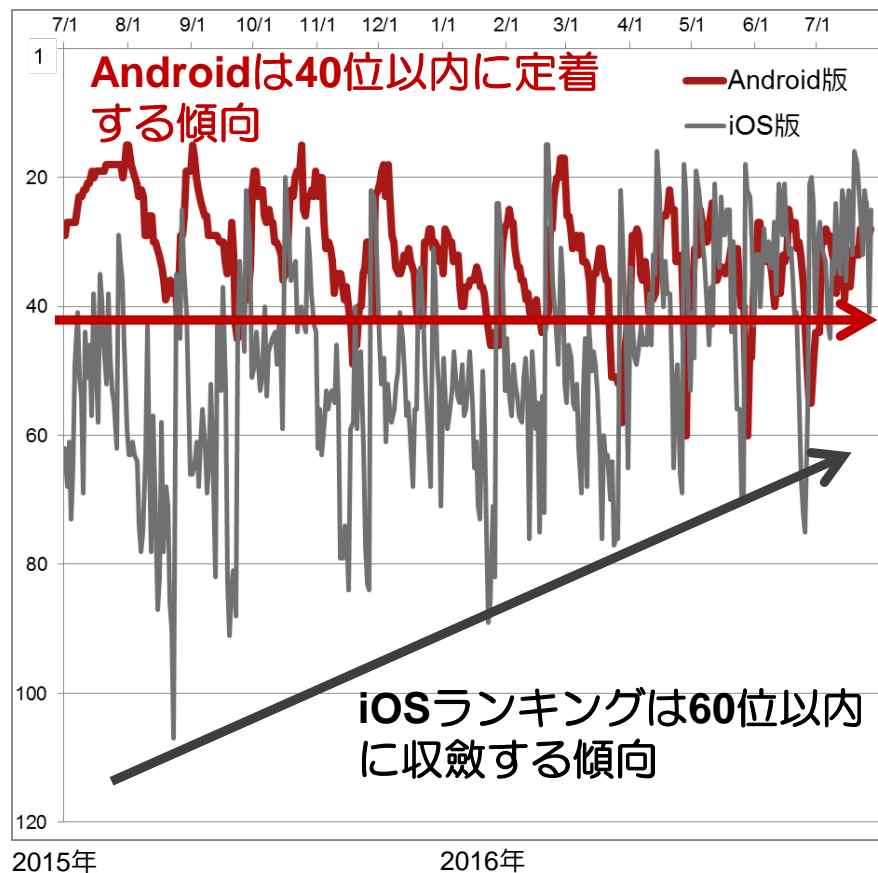
月間ダウンロード数の推移（累計）

(単位：万人)

■ Android版 ■ iOS版



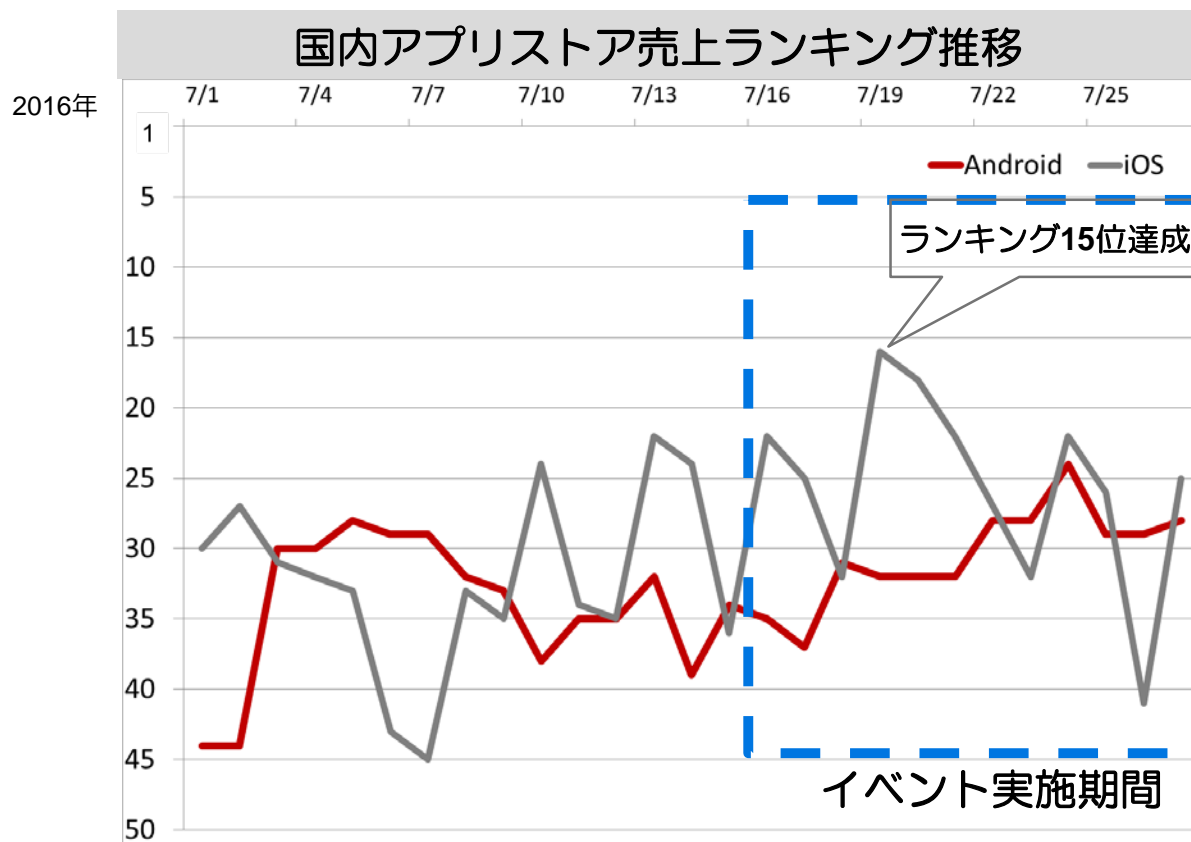
国内アプリストア売上ランキング推移



※2016年7月31日時点

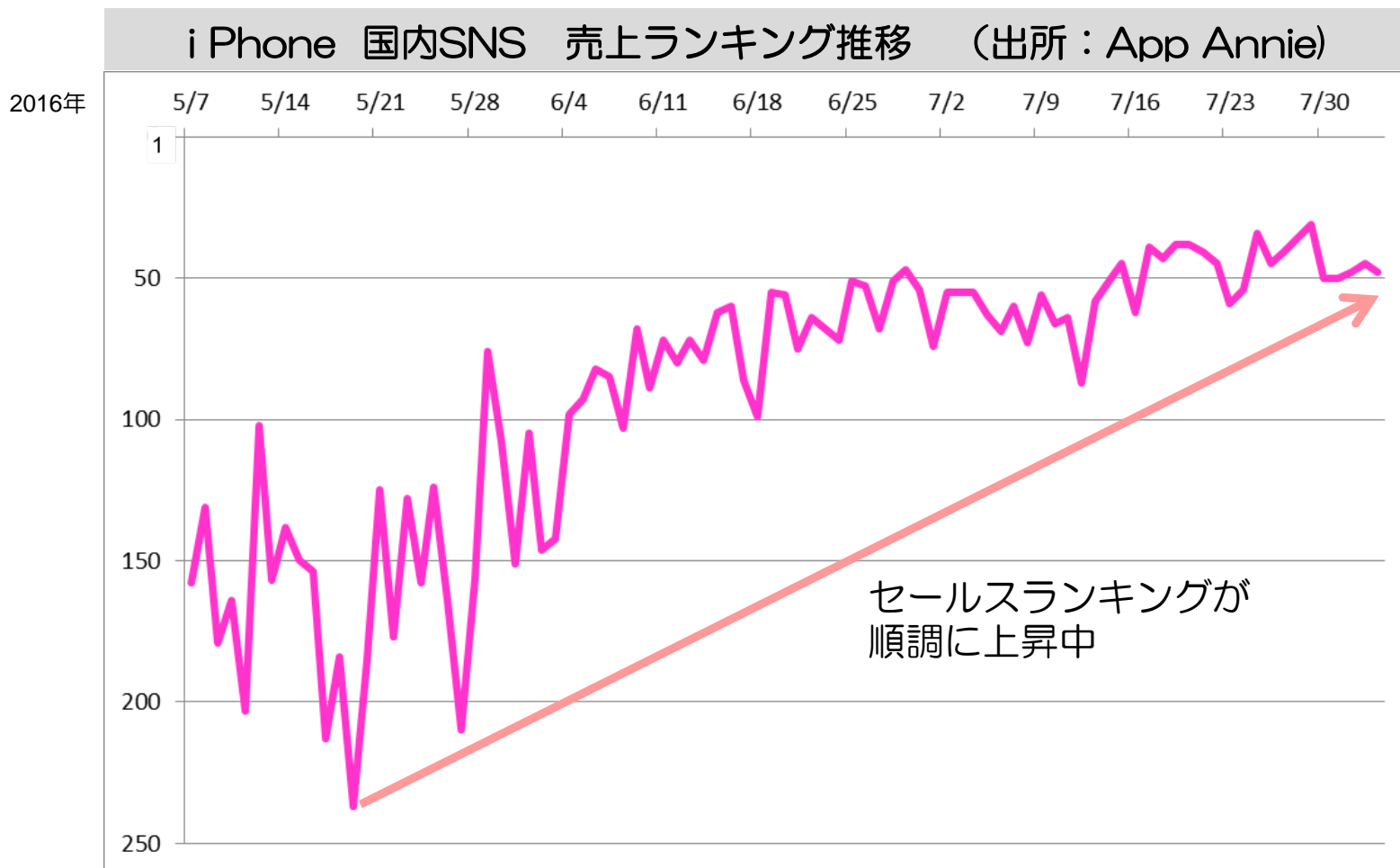


『進撃の巨人』とのコラボ・イベントでは、開催期間中の売上ランキングでiOSでは最高15位を達成、Androidでも25～35位に定着し着実な成果を得ました。また、新規ユーザー獲得についても効率的に行えることが実証できたことから、TVCM等のマス広告は当面見合わせることにし、今後とも今回同様のイベント実施に注力して売上拡大を目指します！





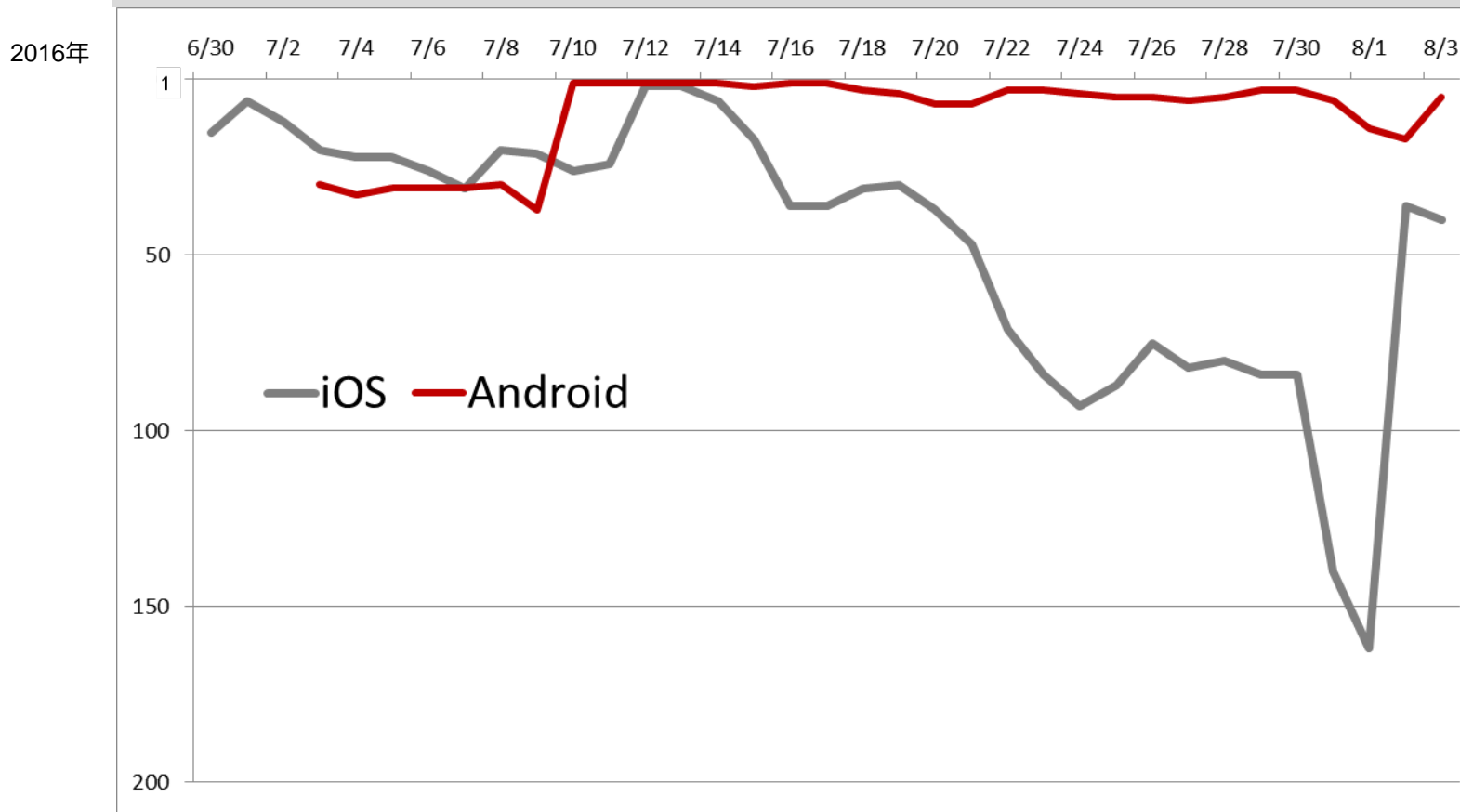
iOS国内SNSで、セールスランキングが順調に上昇中。  
 今後も継続的なバージョンアップを実施し、ユーザーの皆様がさらに楽しめるような機能を拡充してまいります！





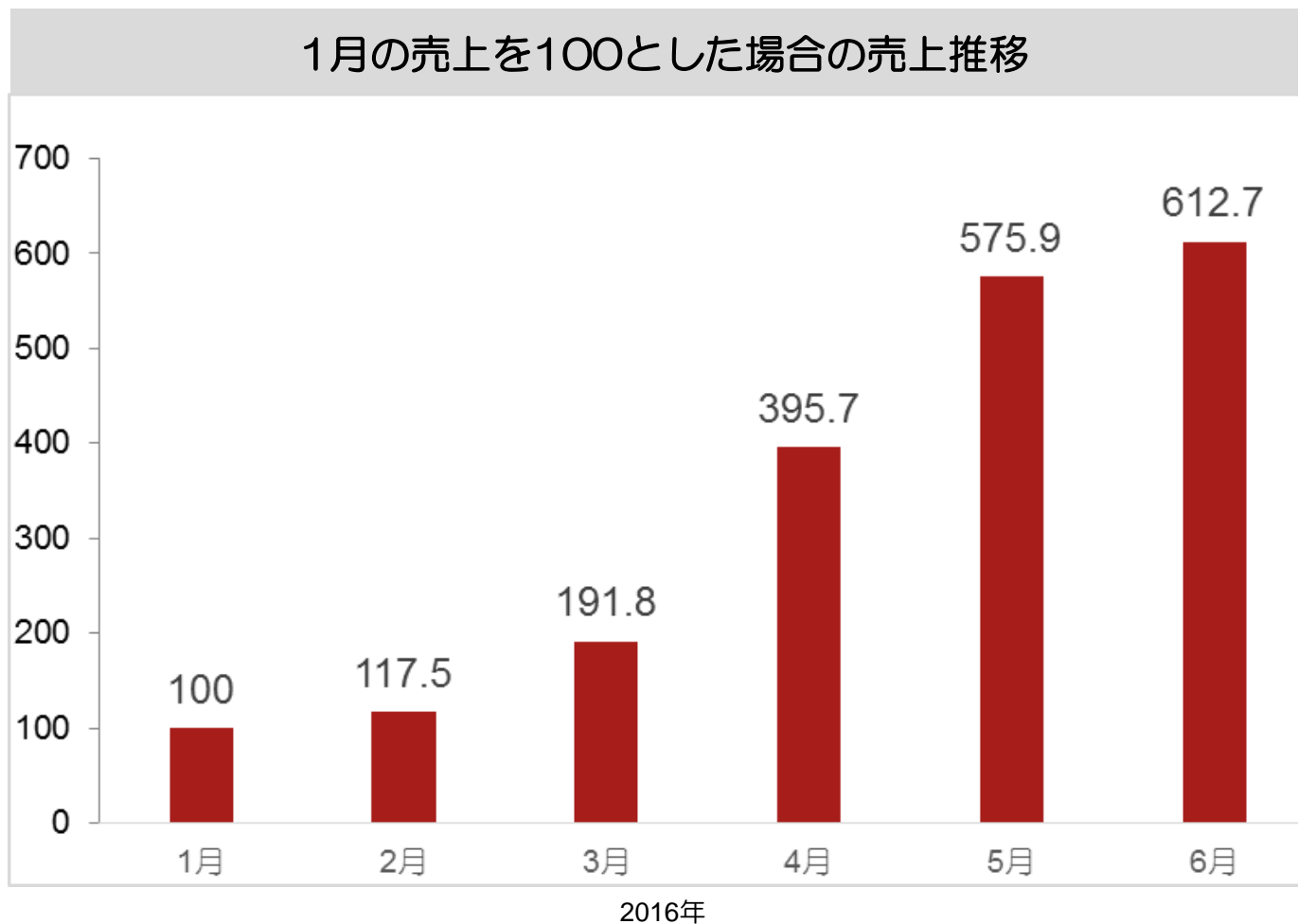
LINEとの協業第一弾『LINE 怪盗にゃんこ』は、事前登録33万人を突破、国内無料ゲームアプリのダウンロード数ランキングで、Androidでは1位を7日記録・リリース後40位以内をキープ、iOSでは7月月間で50位以内を21日記録し、順調にユーザー数を増やしています。

国内無料ゲームアプリ ダウンロードランキング推移 (出所: App Annie)



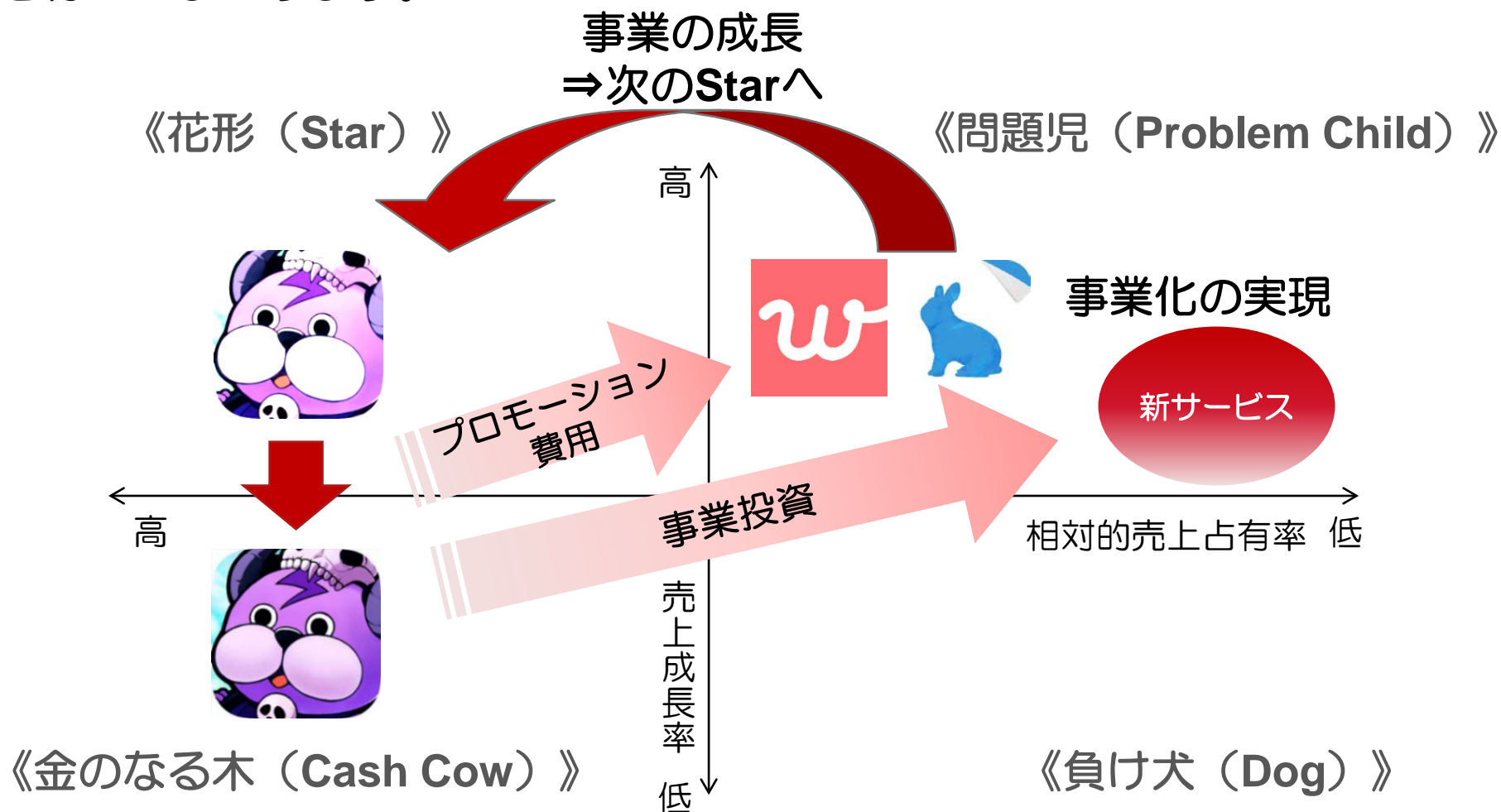


キュレーションメディア『U-NOTE』は、本年6月の売上高が1月の6倍に達し、事業規模は順調に拡大しております。





今後の当社事業の成長に向けて、成熟した事業構造を獲得した『ぼくとドラゴン』からの収益を、これからの成長が期待される既存サービスのプロモーションや、新規サービスの開発に還流することで、バランスのとれた事業ポートフォリオの構築を行ってまいります。



2016年5月17日付開示の通り、ドイツ証券と新株予約権買取契約（行使許可条項付・ターゲット・イシュー・プログラム「TIP」）を締結、今後の株価向上に合わせて新株を発行することにより、成長に伴う資金調達を円滑に実施する体制を整えました。

回号	株数	行使価格
第8回新株予約権	155,000株	3,600円
第9回新株予約権	217,000株	5,900円
第10回新株予約権	248,000株	10,000円
発行新株予約権数	620,000株	
調達（予定）総額	4,314,923,210円	

（注）調達資金の額は、本新株予約権の払込金額の総額に本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額を合算した額から、本新株予約権の発行に係る諸費用の概算額を差し引いた金額です。行使価額が修正又は調整された場合には、調達資金の額は増加又は減少する可能性があります。また、本新株予約権の行使期間内に行使が行われない場合及び当社が取得した本新株予約権を消却した場合には、調達資金の額は減少します。

《行使状況》      30,000株      108百万円

## 経営理念

---



「世界にインパクトを与えなければ、気がすまない」

## ミッション

---

「次のあたりまえを創る。何度でも」

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは現在における見込、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。